

旬じょうはん

情勢判断学会 東京本部
会員向けニューズレター
発行人 古川 彰久
事務局 〒105-0011 東京都港区
芝公園2-6-11 芝公園7thビル1001
(有)イキキライフ内
Tel.03-3432-0584
Fax.03-3432-0582
http://www.jouhan.com
E-mail: info@iki2life.com

新しい年を迎えて

新しい年を迎え、皆様には情勢判断学と脳力開発を活用し、飛躍の年となりますようお祈り申し上げます。

1月例会ご案内

日時 : 1月8日 水曜日
18:30 ~ 20:30
テーマ : 「平成26年度の展開について」
場所 : 港区立商工会館
参加費 : 1000円
担当 : 古川 彰久

今年度の展開を検討する前に昨年度のテーマと講演者を振り返ってみよう。

<昨年度のテーマと講演者>

- 1月テーマ : 平成26年度の展開について
担当 : 古川 彰久
- 2月テーマ : 中国に関わる不思議な勉強会
担当 : 平井 兵治
- 3月テーマ : 自然治癒力への挑戦
担当 : 古川 彰久
- 4月テーマ : 鎮守の森の植生
担当 : 石田 金次郎
- 5月テーマ : 「いのちの喜ぶ」生き方
——病という負の財産を得て——
担当 : かとう みちこ
- 6月テーマ : 命再生の原点・玉川温泉と歩んで
40数年
担当 : 大城 源吉
- 7月テーマ : 城野宏先生と私
担当 : 知野 進一郎 (愛知県長久手市在住)
- 8月テーマ : 城野宏先生生誕100周年記念

- 9月テーマ : 顔面表情読解を通した円滑な
コミュニケーションのあり方について
担当 : 清水 建二
- 10月テーマ : 39名の講師の先生方から学んだこと
担当 : 知野 進一郎
- 11月テーマ : 我が国における統合医療の
展開について
担当 : 古川 彰久
- 12月テーマ : 顔面表情読解を通した円滑な
コミュニケーションのあり方第2回
—微笑表情と嘘
担当 : 清水 建二

<昨年度の特徴と今年度の展開>

昨年度は講演者の取り組んでいるテーマについての想いを語っていただいたといえる。特に後半は新しい方に参加をいただき新たな分野への挑戦を語っていただいた。

今年度はどのようなテーマを取り上げ、適当な講演者がいるかどうか課題であろう。

意欲のある人の参画を期待します。

<新年会の開催>

当日は早目に終了とし、新年懇親会を開催します。

以上

1 1 月例会報告

日時 : 11月13日 水曜日
18:30 ~ 21:00

テーマ : 「我が国における統合医療の展開について」

場所 : 港区立商工会館

担当 : 古川 彰久

3月の例会で「自然治癒力への挑戦」というテーマで話させていただきましたが、その時に「我が国医療制度の問題」を以下の通り指摘させていただきました。

我が国医療制度の問題

①自然治癒力を認めていない

- 西洋医療一辺倒で、これまでの東洋医療を認めていない。
- 医は仁術として、医師を中心とした利権構造を形成し、結果として、検査漬け、薬漬けで成り立つような仕組みを作っている。
- “いのち”の精神性を認めず、個人の意識による活性化効果は、いわゆるプラシーボ効果として排斥している。

②食品よりも薬を上位においている

- “いのち”は本来、空気・水・食品等によって育まれているが、我が国では薬を上位として、薬でないものが食品であるとの位置づけである。

③先進国の動向

- もともと、ヨーロッパでは英国におけるホメオパシー療法や独国における波動療法等東洋的療法が活用されている。
- 近年米国においても、成人病対策への西洋医療の限界に気づき、統合医療が国策として推進されている。

米国における統合医療の発展

推進の中心人物 アンドルー・ワイル医学博士
「統合医療は治癒 (healing) 指向であり、ライフスタイルのあらゆる側面を含む、全人的 (body, mind, and spirit) 視点を持っている。それは治癒的關係を重視し、西洋医学と代替医学のあらゆる適切な療法を活用する。統合医療をCAM (相補・代替医療) と区別することが最も重要である。CAMは、医学部において教えられていない療法に関わっている。統合医

療のムーブメントはアメリカ等において現在、きわめて強力になっているが、医者に新しい道具を提供するというを遥かに凌ぐ目標を持っている。それは、医学部の教育や研究、実践というものが、疾病や治療よりも健康と治癒に重点を置き直すことをねらいとしている。また、人間は単なる身体を超えたものであるということを主張し、患者のライフスタイルの細部に注意を向けるよう、医者を訓練する。さらに、自然治癒力を刺激するような医者との関係をサポートするよう、ヘルスケア・システムを変えてゆくことをねらいとしている。」

我が国での展開現状

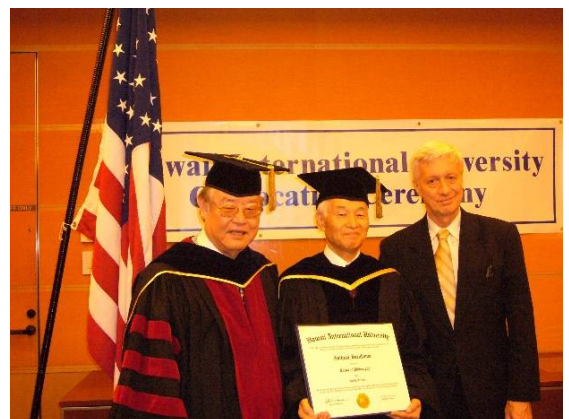
このような世界の大勢に対し、我が国の実態はどのようなになっているのでしょうか。

- ① 「日本統合医療学会」が設立され、統合医療を推進しようとしているが、厚生省を中心とした利権構造の大きな壁に阻まれて、統合医療の本質を訴えることもできず、これまでの代替療法を医師を通して認められるのが、精いっぱい状況である。
- ② 今の日本の現状では、相変わらず、医者でもない人が自然治癒力を活性化するなど提唱すると罰せられる。

ハワイ国際大学

同大学は、統合医療の推進に力を入れており、日系人である現学長は日本にも広めるべく沖縄からスタートし、大阪、東京にも拠点を設けている。

- ① 同大学が、小生のこれまでの活動を評価し、7月に健康博士号を授与された。



- ② 11月には東京において、ハワイ国際大学主催統合医療ならびに環境科学シンポジウムが開催され、小生も講演者として招待された。小生は真っ先に「自然治癒力への挑戦」をテーマに講演した。小生を含め一般講演者16名は医者ではない統合医療実践者でした。また、特別講演は日本における免疫理論の第一人者であられる新潟大学名誉教授安保徹博士でした。

今後の展開について

- ① 現在の医療システムは厚生省を含めた利権構造にメスを入れる必要があり、改善には国民的な理解が不可欠である。特に高齢者の生き様が問われるといえる。このような状況の中で、統合医療への真の理解者を地道に増やしていくことが課題である。
- ② せっかくハワイ国際大学が道をつけてくれた、真の統合医療の道を発展すべく、中核になる人を選び、国際統合医療研究会を設立し、ハワイ国際大学の支援を受けつつ、拡大発展を目指すこととした。
- ③ また、小生が主催するISLIS生命力活性研究会の有力メンバーの高橋武生氏が甲府の増富の湯で、ISLISの合宿を実行委員長として受けることとなり、今回の縁により、安保先生を特別講演者として招聘できました。

以上のような活動を実践していくのに情勢判断学あるいは脳力開発の教えがベースにあります。

以上

例会予定

2014年

2月12日 水曜日 18:30 ~ 21:00

テーマ : 未定

担当 : 未定

3月12日 水曜日 18:30 ~ 21:00

テーマ : 未定

担当 : 未定

原則として第二水曜日となります。

開催場所：港区立商工会館

(都立産業貿易センター浜松町館 6階)

区立商工会館へのご案内地図



東京都港区海岸1-7-8 都立産業貿易センター

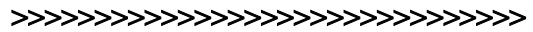
浜松町館 6階 TEL03-3433-0862

ゆりかもめ竹芝駅より徒歩3分

JR浜松町駅北口より竹芝横橋方向へ徒歩7分

都営地下鉄浅草線・大江戸線大門駅より

浜松町駅方向へ徒歩10分



※ 会誌発送は、E-mail です。

※ 年会費はありません。

※ 「じょうはん」発送のお申込は、

E-mail : info@iki2life.com

まで、Mail でご連絡下さい。

※ 興味のある方にも積極的に転送してあげて下さい。

※ ホームページもご確認下さい。

<http://www.jouhan.com>



分科会活動 ご案内

古川彰久が事務局長に就任しているサトルエネルギー学会の行事をご紹介します。

サトルサロン

開催予定

日時：2014年2月7日(木) 18:30~20:30

場所：神明いきいきプラザ

会費：3000円

日時：2013年3月7日(木) 18:30~20:30

場所：港区立商工会館

会費：3000円

詳細は追ってご案内

サトルエネルギー学会春の大会

開催日時：2013年4月20日(日)

会場：代々木SYDホール

テーマ；真我の目覚め！

～女性の直観に始まる

詳細は追ってご案内

窓口・申込：(有)イキイキライフ 古川彰久

TEL：03-3432-0584

FAX：03-3432-0582

編集後記

1月は今年の運営計画をご相談します。皆様の積極的なご参加を期待します。

例会を早めに終え、新年の懇親会も開催します。

新しい年を皆さんの力を結集して発展の年に致しましょう。

(古川)